

平成26年3月14日

那須烏山市議会議長 佐藤 雄次郎 様

烏山線利用向上対策調査特別委員会委員長 小森 幸雄

### 所管事務調査結果報告書

平成22年第4回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 平成22年6月10日から平成26年3月14日まで
- 2 構成委員 小森幸雄、川俣純子、渡辺健寿、佐藤昇市、平山 進、  
中山五男、樋山隆四郎 以上7名
- 3 調査事項 烏山線の利用向上対策について
- 4 調査報告

本特別委員会では、各地の先進事例を視察し地方のローカル線の現状と対策についての調査研究を行った。多くのローカル線は、利用客の減少を食い止める対策が最大の課題となっている。そのために、企画列車の運行やイベントの開催など、いかに話題性のある取り組みをし利用してもらうか知恵を絞った事業がなされていた。また、地域の人々に愛着を持ってもらえるような路線であるような取り組みがみられた。当市でも烏山線を利用した企画は行っているが、観光客はもとより市民が多く利用するような効果的な対策が必要である。

また、烏山線の利用向上対策についての調査研究を行うのみにとどまらず、山あげ祭の際に烏山駅前を利用客のお出迎えを行い、市民号については企画運営の段階から参加するなど、市と一体となった利用向上の推進に取り組んだ。

明日から待ち望んでいた蓄電池駆動電車「アキュム」が運行され、烏山線の利用向上には、またとないチャンスであり、観光振興及び地域活性化に繋げていけるように望むものである。